



# なおえ。

な かまを おうえんする えがのおのまちづくり

いっしょに進もう! みんなでまちづくり!

発行/直江コミュニティセンター TEL:72-5282 FAX:72-5286  
E-mail:naoe-cc@local.city.izumo.shimane.jp

直江地区の世帯と人口

令和7年7月31日現在  
世帯数……1,741  
人口……3,982  
(男性)……1,977  
(女性)……2,005

直江コミセン

検索



6月15日(日)

## eスポーツ 体験講座

自主企画事業 総務部

島根県eスポーツ連合さんご指導のもと、今年で3年目となるeスポーツ体験講座を開催しました。

会場には小学生、親世代、祖父母世代など幅広い年齢の方が集まり、普段ゲームにあまり触れたことがない方でもスタッフから操作方法を教わりながら対戦を楽しんでいました。eスポーツは瞬時の判断力や反射神経が求められることから、脳の活性化や認知症予防にも効果が期待されています。今後も継続して開催することで、世代間交流を促し地域のつながりを一層深めていきたいと考えています。



8月24日(日)

自主企画事業 高齢者・子ども支援部

## 木に学び木であそぶ

～親子でチャレンジ!モノづくり～

扨藤建具店の扨藤純さんを講師に迎え、夏休み恒例の「木に学び木であそぶ～親子でチャレンジ!モノづくり～」を開催しました。はじめに扨藤さんから木についてのお話を聞いてから作業がスタートしました。今年の作品はお賽銭箱のようなかたちの貯金箱。材料の松は強度が高く、ノコギリを挽くのも釘をカナヅチで打つのも一苦労の様子でしたが、親子で協力しながら取り組むことで立派な貯金箱を完成させることができました。一生懸命つくった作品は、夏休みの素敵な記念になったことと思います。



# 夏休みなおえ 子ども教室

主催：直江地区青少年育成協議会

平年より早く梅雨明けし本格的な夏を迎えた中、「お茶教室」「陶芸教室」「絵手紙教室」「日帰りキャンプ」を開催しました。はじめは元気いっぱいだった子どもたちが、先生の説明を聞く場面では真剣な表情となり、懸命に活動や作品づくりに取り組む姿が印象に残りました。厳しい猛暑の中で熱中症対策が大きな課題と感じていますが、今後も対応を工夫しながら安全第一に取り組んでいきたいです。参加した子どもたち、講師の先生、ご協力いただいた地域の皆さま、本当にありがとうございました。



7月29日(火)

ご指導：お茶教室の皆さま

## お茶教室

和やかな雰囲気の中で、お茶の点て方を教わりました。



7月30日(水) 8月12日(火) 8月18日(月)

ご指導：直江陶芸クラブの皆さま

## 陶芸教室



8月6日(水)

共催：直江地区社会福祉協議会

ご指導：直江絵手紙の会の皆さま

## 絵手紙教室

野菜や果物等を題材に、想いのこもった作品ができあがりしました。



8月7日(木)

共催：直江地区社会福祉協議会・  
ピノキオの会・直江地区青少年育成協議会

## 日帰りキャンプ

穴道湖グリーンパークとゴビウスに行き、バードウォッチングやキーホルダー作りをしました。



お願い

コミセンでは、行事やイベントの際に写真撮影をし、コミュニティセンター報やホームページに掲載しています。ご理解ご協力をお願いします。



# 斐川西中学校 花活動

6月6日(金)

7月4日(金)

自主企画事業 総務部



環境保全連合会の方と花活動に参加しました。生徒さんたちと一緒にマリーゴールドの苗をポットへ植え替え、育った苗をプランターへ移植しました。西中にお立ち寄りの際は、花々に彩られたフラワーロードをお楽しみください。

## 空き缶の 回収について



環境保全連合会直江支部

飲料用空き缶の回収をはじめました。集まった缶の売却収入は直江地区のために役立てたいと考えています。皆さまのご協力をお願いいたします。回収場所は直江コミセン別館（旧飯塚病院）自転車置き場の奥です。



7月25日(金)

## 消防訓練

1階東側の調理実習室で火災が発生したと想定し、消防訓練を行いました。

センター長指導のもとで消火器の使い方や、正しい胸骨圧迫の仕方、AEDの使用方法について学びました。



6月29日(日)

## 環境学習会

主催：環境保全連合会直江支部

講師：伊藤 恵美子 様

布のリメイクアドバイザーとして活動されている伊藤恵美子さんをお招きし、「米袋をつかったエコバッグを作ろう」を開催しました。当日は多くの方にご参加いただき、親子で楽しく製作する姿も見られました。米袋はとても丈夫な素材で、エコバッグはもちろん、おもちゃ入れや野菜の収穫などにも活用できます。完成したバッグを日常生活の中で役立てていただくことで、環境について考えていただくきっかけになればと思います。



# 「いまこそ 世界平和を かのうかんらい 一加納莞蕾 おも の想いをつなぐ」

皆さんは、安来市加納美術館に行かれたことはおありでしょうか。そこに展示されている絵の多くは加納莞蕾さんの作品です。加納さんは、安来市出身の画家であり、太平洋戦争後に平和を願い活動した方です。(後述プロフィール参照)



今年は太平洋戦争の終戦から80年になります。この間、私たちは長く平和を享受していますが、世界に目を転じると武力による争いは絶え間なく続き、現在もウクライナやガザ等で大規模な争いが続いています。そして、こうした戦争により、人として生きる権利や安全で穏やかな生活を奪われている人々がたくさんいます。まさに戦争は最大の人権侵害だと思います。平和と人権尊重は密接につながっているテーマですが、私たちにできることや考えるべきことは何でしょうか。

今回は、加納佳世子さん(安来市加納美術館名誉館長)を講師に、加納莞蕾さんの生き方を通して平和や人権尊重について考える研修会を行いました。地域内外から35人の参加がありました。加納さんは、私たちの今が子どもの未来をつくる、次世代を生きる子どもたちのために“命を大切に”“仲間を持つ”“世界に思いを致す”ことを強調されました。また、平和学習では被害者であると同時に加害者でもあることを学ぶ大切さも話されました。平和と人権は大きなテーマですが、日々の生活に落とし込んでみると、身近な人にやさしくする、思いやることにつながると改めて感じました。

出雲市の同和教育研究指定事業は昨年度終えました。 “知る”ことが差別の解消と人権尊重につながるキーワードだと考えています。12月にはDVD視聴による地域研修会を予定しています。引き続き“なかよく おもいやり えがおあふれるなおえ”につながる活動にご協力をお願いします。

(文責：直江地区人権・同和教育推進協議会 石原順)

かのうかんらい

**加納莞蕾** (本名：辰夫)

※加納美術館HPより抜粋

1904(明治37)年、能義郡布部村(今の安来市広瀬町布部)生まれ。画家。第二次世界大戦後、フィリピンのニュービリビッド刑務所に戦犯として入れられていた日本兵105名の釈放と命を助ける運動を行う。「赦し難きを赦す」ことが平和実現に繋がるという考えのもと、当時のキノフィリピン大統領をはじめ、GHQのマッカーサー総司令官、インドのネルー首相、ローマ教皇などへ300通以上の手紙を送り続ける。その結果、フィリピン戦犯は1953(昭和28)年、キノ大統領により赦され開放された。加納は、日本人戦犯が帰国してからは生涯にわたり平和実現への提言を続けた。



## 直江コミュニティセンターからのご案内

### ●近日開催イベントについて

※詳細については配布チラシにてお知らせいたします



- ★健康講座「免疫のカギは腸にあり!?!」……………9月30日
- ★直江地区文化祭……………10月19日
- ★なおえ健康ウォーク……………10月26日
- ★直江地区カローリング大会……………11月9日
- ★環境について考えよう……………(11月)
- ★高齢者交通安全教室……………(11月)
- ★高齢者スマホ教室……………(11月)

※天候などの影響で変更や中止になる場合があります。

## ご寄付のお礼

直江地区自治協会へご寄付をいただきました。  
〔香典返し 金一封〕(届出順)

- ・坂本 勇 様  
(坂本 好子 様 / 令和7年6月) 共栄町
- ・太田佐奈恵 様  
(松山 武司 様 / 令和7年5月) 中筋小原
- ・神門 直樹 様  
(神門 功子 様 / 令和7年8月) 中町

( )内は故人

ありがとうございました。

直江地区自治協会を通じて社会福祉団体等へ配分し、有効に活用させていただきます。